

ことばの学習

(1) 次のじゆく語に読みがなをつけなさい。また、これらのじゆく語を国語辞典で引くと、どのような順じよにならんでいますか。出ている順に記号をならべなさい。

①				②			
ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ
灯台	動作	遠浅	東西	百聞	表紙	必要	病室
()	()	()	()	()	()	()	()
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
[]				[]			

(2) ことばの意味を知りたいときは、言い切りの形で調べます。次の線部のことばを国語辞典に出ている形にして書きなさい。

- 〈例〉 質問に答えてからすわりなさい。 (答える)
- ① 小さいころ、川に落ちた。 ()
- ② 母がおいしいパンを作ってくれた。 ()
- ③ 新しく家を建てよう。 ()

(3) 次の漢字の部首名と、総画数を書きなさい。

- ① 得 () ② 副 ()
- ③ 選 () ④ 節 ()
- ⑤ 庫 () ⑥ 囲 ()

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「早く峠越えるべ。雪降ってくるじよ。」

ところがちょうどそのときです。まっしろに光っている白いそらに暗くゆるやかにつらなっていた峠の頂の方が少しぼんやり見えてきました。そしてまもなく小さな小さな乾いた雪のこなが、少しばかりちらつちらつと二人の上から落ちてまいりました。

「さあ榎夫、早ぐのぼれ、雪降ってきた。上さ行けば平らだはんて。」
一郎が心配そうにいいました。

榎夫は兄の少し変わった声を聞いてにわかにあわてました。そしてまるでせかせかとのぼりました。

「あんまり急ぐな。大丈夫だはんて、なあにあど一里も無いも。」

一郎も息をはずませながらいいました。けれどもじつさい二人とも急がずにおられなかったのです。眼の前もくらむように急ぎました。

あんまり急ぎすぎたのでそれはながくつづきませんでした。雪がまったくひどくなつて、きた方も行く方もまるで見え、二人のからだもまっ白になりました。そして榎夫が泣いていきなり一郎にしがみつきました。

「戻るが、榎夫。戻るが。」

一郎も困ってそっくりながらきた下の方をちよつと見ましたが、とてももう戻ろうとは思われませんでした。それはきた方がまるで灰いろで穴のようにくらく見えたのです。

(宮沢賢治『ひかりの素足』)

問一 線①②③の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

①

②

問二 線A・Bのことばの意味としてよいものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

A ア 平らで広々とした所 イ 山が続いている所

ウ 山道を登りつめた所 エ 山のてっぺん

B ア だんだんと イ 急に

ウ 変に エ ひじょうに

A

B

問三 線①「少し変わった声」とありますが、一郎の声が少し変わったのはなぜですか。よいものを次から選び、記号で答えなさい。

A 樗夫の歩くのがおそいので、はらが立ってきたから。

イ のぼり坂が急なため、つかれてきたから。

ウ 峠に着く前に雪が降り始めたので、心配になったから。

エ 峠の頂が見えたので、安心したから。

問四 線②「せかせかと」、③「息をはずませ」は、どんな様子

を表していますか。よいものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

② ア いそがしそうで落ちつかない様子

イ つかれて体が思うように動かない様子

ウ おどろいてわれをわすれている様子

エ のんびりと落ちついてしている様子

③ ア 大きく息をすいこむ様子

イ 息がはげしくなった様子

ウ 息ができなくなつた様子

エ 息持ちが落ちついてしている様子

問五 線④「急がずにおられなかった」のはなぜですか。よいものを次から選び、記号で答えなさい。

A 雪が降り出したので不安になり、少しでも早く目的地に着きたいと思つたから。

イ おたがいに相手よりも先に峠に着きたかつたから。

ウ もう少して峠なのがいれしくて、あらたな力がわいてきたから。

エ 夕方になり、辺りがだいぶ暗くなつたから。

エ 雪の降り方がはげしくなつたことがわかる一文を、文中から書きぬきなさい。

問六

問七 線⑤「とてももう戻ろうとは思われませんでした」とありますが、それはなぜですか。

1 <漢字の読み書き>

次の——線部の漢字の読み方をひらがなで、かたかなを漢字で書きなさい。

- ① 鼻をつまむ。
- ② 物語を読んで泣く。
- ③ 不利な立場になる。
- ④ 森に鳥を放す。
- ⑤ 太陽がさんさんと照る。
- ⑥ 自分の考えが固まる。
- ⑦ 実験の結果をまとめる。
- ⑧ マツリのたいこが聞こえる。
- ⑨ 空がクラクになってきた。
- ⑩ 自転車にノる。
- ⑪ みかんのカワをむく。
- ⑫ ことばのイミを調べる。
- ⑬ 借りた本をカエす。
- ⑭ 木の葉がオちる。

⑬	⑪	⑨	⑦	⑤	③	①
⑭	⑫	⑩	⑧	⑥	④	②

2 <音読み・訓読み>

次の漢字の音読みと訓読みをそれぞれひらがなで書きなさい。

③ 波	② 橋	① 歯
音	音	音
訓	訓	訓

3 <音読み・訓読み>

次の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- | | |
|-----|-----|
| ③ | ① |
| イ ア | イ ア |
| 家路 | 新緑 |
| 線路 | 黄緑 |
-
- | | |
|-----|-----|
| ④ | ② |
| イ ア | イ ア |
| 炭火 | 岩場 |
| 木炭 | 岩石 |

④	③	②	①
ア	ア	ア	ア
イ	イ	イ	イ

4

〈国語辞典の引き方〉 次のじゆく語を国語辞典で引くと、どのような順じよにならんでいますか。出ている順に記号をならべなさい。

①			
ア	イ	ウ	エ
外貨	絵画	開花	海外
②			
ア	イ	ウ	エ
商品	使用	消化	集会
③			
ア	イ	ウ	エ
横転	大声	屋上	王室

①	②	③
↓	↓	↓
↓	↓	↓
↓	↓	↓

5

〈言い切りの形〉 次の——線部のことを言い切りの形(国語辞典に出ている形)にしなさい。

〔例〕 友達に手紙を書きました。 答え 書く

- ① もう少し待てば、バスが来る。
- ② クラスのみんなが笑っていた。
- ③ わたしもピアノを習いたい。
- ④ 今日はどこにも出かけないで、家にいる。
- ⑤ 東の空が明るくなった。
- ⑥ 暑ければ、まどを開けてください。

①	②
③	④
⑤	⑥

6

〈部首〉 次の漢字の部首名をひらがなで書きなさい。

- ① 完
- ② 便
- ③ 頭
- ④ 原
- ⑤ 熱
- ⑥ 開
- ⑦ 速
- ⑧ 雲
- ⑨ 庫
- ⑩ 園
- ⑪ 陽
- ⑫ 起

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

7

〈総画数〉 次の漢字の総画数を算用数字で書きなさい。

- ① 新
- ② 記
- ③ 院
- ④ 第
- ⑤ 葉
- ⑥ 級
- ⑦ 医
- ⑧ 泳

①	②
③	④
⑤	⑥
⑦	⑧

8 〈こそあどことば〉 次の——線部のことばが指していることばを書きなさい。

- ① 朝、おにぎりを作った。ぼくは、それを持つて出かけた。
- ② 妹が絵本を大切にしている。それは、ぼくがあげたものだ。
- ③ 待合室に行ってください。そちらに飲み物を用意してあります。
- ④ 母は、坂の上の公園が好きだ。そこから富士山が見えるからだ。

①	②	③	④
---	---	---	---

9 〈つなぎことば〉 次の()にあてはまるものとしてよいものをおとから選えらび、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 今日は頭えらがいたい。()、学校を休んだ。
- ② 兄はサッカーが得意だ。()、野球も上手だ。
- ③ 鳥の鳴き声が聞こえる。()、鳥のすがたは見えない。
- ④ 成せいせきが上がった。()、一生けん命勉強したからだ。
- ⑤ 自転車で行きますか。()、バスで行きますか。

①	②	③	④
⑤	イ	ウ	オ

10 〈にた意味のことば〉 次のことばとにた意味のことばをあとから選えらび、漢字で書きなさい。

- ① 美点
 - ② 案外あんがい
 - ③ 厚意こうい
 - ④ 向上
 - ⑤ 重要じゅうよう
 - ⑥ 利用りよう
- び、漢字で書きなさい。

①	②
③	④
⑤	⑥

11 〈反対の意味のことば〉 次のことばと反対の意味のことばをあとから選えらび、漢字で書きなさい。

- ① 幸福
 - ② 他力
 - ③ 点火
 - ④ 部分
 - ⑤ 乗車
 - ⑥ 受信じゆしん
- ら選えらび、漢字で書きなさい。

①	②
③	④
⑤	⑥

12 〈にた意味のことば・反対の意味のことば〉 ①はにた意味のことばを、②は反対の意味のことばを漢字で書きなさい。

① 昨年 <small>さくねん</small> ⇓	② 成功 <small>せいこう</small> ⇓
----------------------------	----------------------------

13

〔慣用語〕

次の——線部のことばの意味としてよいものをあとから
 選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① わたしの服そうを見たおじは「目が高いね。」と言った。
- ② ぼくは、みんなの目をぬすむようにして、会場を出た。
- ③ おもしろい話を小耳にはさむ。
- ④ 勝利を目指して、歯をくいしばる。
- ⑤ 父は、お使いに出かける兄に「油を売るなよ。」と言った。
- ⑥ 両親が「ねこの手も借りたよ。」とぼくに言った。

- ア 人に見られないようにこっそりとする。
- イ むだ話などをして、仕事をなまける。
- ウ 苦しいことやつらいことをじっとがまんする。
- エ 見分ける力がすぐれている。
- オ いそがしくて、人手が足りない。
- カ ちらっと聞く。

⑤	①		
⑥	②	③	④

14

〔かかり受け〕 次の——線部のことばをくわしくしていることばを
 書きぬきなさい。

〔例〕となりの おばさんは とても 親切な 人だ。

答え となりの

- ① すずしい 風が まどから 入ってくる。
- ② わたしが すんで いる 町には 有名な お寺が あります。
- ③ ぼくは 白い 犬を 二ひき かっています。

15

〔主語〕 次の文の——線部のことば(述語)に対して、「だれが(何が)」
 にあたることば(主語)を、それぞれのア～エから選び、記号で答え
 なさい。

〔例〕きのう ぼくは 図書館で 本を 借りた。

答え イ

- ① 兄は 今年の 三月に 高校を 卒業した。
- ② 妹の 友だちが ぼくの 家に 来ました。
- ③ 父に しかられた 弟は ひとりて 泣き続けた。
- ④ ぼくが 本屋さんに 注文した 本が とどいた。
- ⑤ きれいな 歌声が となりの 部屋から 聞こえる。

①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---

- ④ ぼくは 庭の ひまわりに 水を やった。
- ⑤ 小さな 妹が すやすやと ねむる。
- ⑥ 算数と 国語の 宿題が ようやく 終わった。
- ⑦ セキセイインコの 親子が 元気に 鳴いている。
- ⑧ わあわあと 会場じゅうの 人が さわぎ出した。

⑦	⑤	③	①
⑧	⑥	④	②